

11(31/32)1994/JUL

KETCHUTSU ISSN 0913-9613

岐阜県昆虫分布研究会(GKK)

| | | |
|-------------------------------|-------|----|
| 可児市のトウキョウヒメハンシヨウ についてのノート | 川原 誠 | 13 |
| 長良川で採集した若干の甲虫 | 河路 掛吾 | 15 |
| 山県郡伊自良村長滝釜ケ谷の蝶 | 小倉 正治 | 16 |
| 岐阜県のクワガタムシ科 | 高井 泰 | 17 |
| 岐阜県で採集したハチとアリ(1) | 高井 泰 | 22 |
| 岐阜県のチョウ類雑記(Ⅲ) 清見村のチャマダラセセリ | 金森 伸一 | 23 |

可児市のトウキョウヒメハンシヨウについてのノート

川原 誠

Notes on the cicinodelid beetle, *Cicindeda kaleea yedoensis* from Kani-city, Gifu Pref.

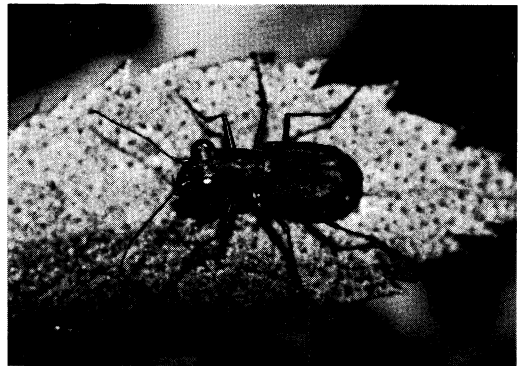
Makoto KAWAHARA

1 *Cicindeda kaleea yedoensis* KANO トウキョウヒメハンシヨウは、明治維新以後に渡来・定着した帰化昆虫だという。また、その生息地は局所的であるとされる(大野, 1988)。

筆者は1960年代前半ころに東京都内の空地で本種を観察したことがあった。当時は個体数も決して少なくはなかったと記憶している。「住宅地の庭や踏み固められた地表に多くみられる」と伝える報告もある(大場, 1981)。四半世紀後の1990年4月、筆者は東京に転勤となり、都内に住むことになった。住まいは奇しくもかつて本種を観察した空地から徒歩で30分と離れていない。本種との久しぶりの再会を楽しみにしていた。しかし、当の空地は高層マンションと化し、周辺も舗装されてしまっていた。生息可能でしかも観察のため入り込めそうな場所となると、僅かに1か所、神社の境内のみとなっていた。その境内にも本種の姿はなかった。そこから約2キロ離れた知人宅の庭にもその姿はなかった。都内に住んでいた3年間、とうとう東京の

本種とは再会できなかった。

ところが東京から転勤となり自宅に戻るや、早々に自宅近くで本種と出会うこととなった。「灯台もと暗し」の一語に尽きる。1週間後、更に周辺を調査し、幅約1メートルの道を隔てた隣の雑木林の林縁の道沿いでも本種を確認することができた。確認できた生息地の範囲は狭く、約800平方メートルの長楕円形内に限られている。



可児市坂戸産トウキョウヒメハンシヨウ

データは次のとおりである。

可児市坂戸 22 VII 1993 4 exs.

可児市坂戸 29 VII 1993 8 exs.

2 最初に本種を見出したのは、丘陵の麓に位置するコナラ林内へと続く道路脇の雑草上であった。道路脇の桑の葉上にキボシカミキリを見かけ写真を撮ろうとした際に、偶然雑草上に静止している1頭の小型のハンミョウ類に気付いた。一瞬ホソハンミョウかと思い、レンズを向け直した。ファインダーを透すと、ホソハンミョウでないことは分かった。しかし、その時も本種だとは思わなかった。とりあえずシャッターを押してから慌てて捕虫網をセットしたが、その間に姿は消えてしまった。その時になって初めて本種ではなかったかと考え始めた。しかし、本当に本種であったかどうか必ずしも自信がもてなかった。半信半疑ながら付近の路上とコナラ林の林床を調べてみると、簡単に合計4頭を採取することができた。やはり本種であった。本種の姿があったのは、すべて木漏れ日が差し込む固い粘土質の表面が露出した林床であった。地表が落葉に覆われた箇所には、その姿はなかった。

体長9mm前後と小型であるうえ、距離は短いものの敏捷に飛びまわる。暗い林床ではついつい姿を見失い勝ちだ。個体数を正確に数えることはできなかったが、控えめに数えても10頭程度は確認できたように思う。

林床の土面に本種の幼虫のものらしい数個の小孔があった。草の茎を差し込んで幼虫を引っ張り出そうと試みたが、反応がなく、幼虫を確認することはできなかった。

このコナラ林にはこれまでも度々足を運んでいたが、林床を詳しく調べたことがなく、本種の生息には全く気付かなかった。

1週間後には、西側に隣接する雑木林から調べ始めた。この林床には落葉が積もっており、本種の姿はなかった。本種のいたコナラ林はシイタケの栽培場に利用されており、林床が人の往来により踏み固められている。これが本種の生息にプラスに働いていると考えられる。

3 本種の生息地の近辺でハンミョウ、ニワハンミョウ等の他のハンミョウ類を採った記録はないし、目撃した記憶もない。東京都内の生息地でも、他のハンミョウ類の姿を窺った記憶はない。

筆者が同じ場所で異なった複数の種類のハンミョウ類を採集しているのは、富山県内の2か所だけである。それ以外は全て1種ずつしか採っていない。例外的な採集地の1つは、④黒部川流域の小支流が合流する河川敷で、ニワハンミョウとコニワハンミョウを採っている。他の1か所は、⑤礪波市近郊の丘陵の狭い空地であり、ハンミョウ、ニワハンミョウ、マガタマハンミョウの3種を採っている。

④は広い河川敷であるが、コニワハンミョウは支流側の草地に近い1角に限られており、混棲していたわけではない。また、⑤は周囲の雑木林の伐採作業中で、一部ではブルドーザーによる整地作業が進められていた。3種のハンミョウ類はいわば空地に追い詰められた状態にあった。この例は異常事態下での一時的な混棲であったと考えられる。

ハンミョウ類は、成虫の活動期がいずれも長く、季節的な棲み分けが難しい。しかも、食性をはじめとしてその生活様式は共通性が強い。そのため、仮に複数の種が同一場所に生息したとしても、やがては生活力の強い種が他の種を駆逐してしまうだろう。その結果、場所的な棲み分けが生じ、排他的な分布パターンが成立することになる(掘, 1988)。

ハンミョウ類は、場所的に棲み分け、生息地は排他的であるのが基本的パターンであると見てよいであろう。

4 本種の分布が局所的であるのは、他のハンミョウ類が生息する地域には進出できないことも重要な要因となっていると考えられる。可児市の生息地に他のハンミョウ類が見いだされないのも偶然ではなからう。

岐阜県下では他に本種の生息地は知られていない。他にも本種の生息地が発見されるとすれば、そこは多分他のハンミョウ類の空白地帯で

あると推測される。

ところで、可児市の生息地の環境は、東京都内の生息地の環境とは大きく異なる。都内の生息地は、市街地の中のスポット的な空地で、雑草もまばらな裸地であった。可児市の生息地はコナラの林縁ないし林床である。林縁には雑草が生い茂っており、林床は僅かに木漏れ日があるとはいえ薄暗い。この生息環境の違いをどう考えるべきであろうか。

本種は人が近づくと危険が迫ると、近くの植物の葉の上などに飛び移る習性がある。生息地に樹木や雑草類が茂っていることは、格好の採餌場となるだけでなく、避難・隠れ場所も具えていることになる。生息環境としては、市街地の雑草も疎らな裸地よりもはるかに条件が整っ

ていると考えられる。

最近の調査によれば、関東や九州の既知産地では生息範囲が拡大する傾向はみられないようである(大野, 1988)。可児市の生息地が今後拡大するか否か、他種のハンミョウ類との競合関係の如何など興味は尽きない。

文 献

1. 堀 道雄 (1988) 海浜性ハンミョウ類のすみわけと共存 (佐藤正孝編 日本の甲虫—その起源と種分化をめぐって—: 14-22)
2. 大野正男 (1988) ハンミョウ科 (環境庁第3回 動植物分布調査報告書: 99, 146-149)
3. 大場信義 (1981) 神奈川県 of ハンミョウ類 (神奈川県教育委員会 神奈川県昆虫調査報告書: 381-382)

長良川で採集した若干の甲虫

河 路 掛 吾

A record of coleopteran insects from the Nagara-river side in Hashima-city, Gifu Pref.
Keigo KAWAJI

筆者は長良川河川敷の水溜で、若干の甲虫類を採集したので下流止水域?における一分布資料として報告する。なお甲虫ではないが、コオイムシとタイコウチも採集しているので参考に追記しておく。また、ゲンゴロウ類の同定をして戴いた豊橋市自然史博物館の長谷川道明氏に感謝する。

採集は1992年4月18日に、南濃大橋の2 km程下流の左岸で行った。なお行政区としては岐阜県羽島市小藪になる。この辺りの植生は、水べからすぐにヨシ群落になり20m程でカワヤナギを境にススキ群落となる。そのまま約30mで堤防護岸となっている。水溜は堤防護岸のすぐ外に位置し、工所用車両による轍で、幅約40cmの長さ5 m程、水深は約20cmだった。すでに護岸工事は完了しており、水溜は周囲の水草などの植物の様子より一年以上前からあったと推測できる。当地を訪れた時は夕方、すでに辺りは薄暮になっており水中の昆虫は非常に見にくい

状態となっていた。しかしツブゲンゴロウが数種類いるように思えたので、直径約40cmのざるで泥や草と共にすくい採りビニール袋に入れ持ち帰った。泥の量は10リットル程であった。これを自宅で水洗いし、昆虫を採った。たまたま採取法が良かったのか随分と多くの種があり驚いている。ゴミムシやハムシの仲間は草の根元で見たが構わずざるですくったもので、破損固体が多く同定できず、未報告も数種ある。

目 録

1. *Nebria chinensis* BATES マルクビゴミムシ 5 exs.
2. *Tachyura Laetifica* (BATES) ヨツモンコミズギワゴミムシ 1 ex.
3. *Harpalus pseudophonoides* SCHAUBERGER ニセケゴモクムシ 1 ex.
4. *Peltodytes intermedius* (SHARP) コガシラミズムシ 12 exs.
5. *Guignotus japonicus* (SHARP) チビゲ

- ンゴロウ 4 exs.
6. *Laccophilus difficilis* SHARP ツブゲンゴロウ 270 exs.
 7. *Laccophilus lewisius* SHARP ルイスツブゲンゴロウ 2 exs.
 8. *Laccophilus kobensis* SHARP コウベツブゲンゴロウ 30 exs.
 9. *Copelatus weymarni* BALFOUR-BROWNE ホソセスジゲンゴロウ 6 exs.
 10. *Rhantus pulverosus* (STEPHENS) ヒメゲンゴロウ 1 ex.
 11. *Hydaticus grammicus* (GERMAR) コシマゲンゴロウ 8 exs.
 12. *Hydaticus rhantoides* SHARP ウスイロシマゲンゴロウ 4 exs.
 13. *Enochrus esuriens* (WALKER) チビヒラタガムシ 2 exs.
 14. *Sternolophus rufipes* (FABRICIUS) ヒメガムシ 14 exs.
 15. *Amphiops mater* SHARP タマガムシ 32 exs.
 16. *Regimbartia attenuata* (FABRICIUS) マメガムシ 12 exs.
 17. *Berosus pulchellus* MACLEAY ホソゴマフガムシ 11 exs.
 18. *Berosus lewisius* SHARP トゲバゴマフガムシ 2 exs.
 19. *Berosus japonicus* SHARP ヤマトゴマフガムシ 4 exs.
 20. *Melanotus seniculus* CANDEZE チャバナネクシコメツキ 1 ex.
 21. *Pagria signata* (MOTSCHULSKY) ヒメキバナサルハムシ 1 ex.
 22. *Plagioderia versicolora* (LAICHARTING) ヤナギルリハムシ 2 exs.
 23. *Galerucella nipponensis* (LABOISSIERE) ジュンサイハムシ 2 exs.

24. *Fleutiauxia armata* (BALY) クワハムシ 2 exs.

25. *Lissorhoptrus oryzae* KUSCHEL イネミズゾウムシ 1 ex.

追 記

26. *Diplonychus japonicus* VUILLEFROY コオイムシ 5 exs.

27. *Laccotrephes japonensis* SCOTT タイコウチ 1 ex.

文 献

原色昆虫大図鑑 [第2～3巻], 北隆館

原色日本甲虫図鑑 (I～IV), 保育社

山県郡伊自良村長滝釜ヶ谷の蝶

小 倉 正 治

Butterflies of Kamagatani, Ijira V., Yamagata.
Masaharu OGURA

本年度より伊自良青少年の家勤務となった。昼休み等を利用した採集、目撃等で記録に残したいと思う知見が得られたので報告する。

1 *Pupilio maackii tutanus* FENTON ミヤマカラスアゲハ

21.V.1993 2♂

2 *Celastrina sugitanii* MATSUMURA スギタニルリシジミ

3.IV.1993.2♂

3 *Melanitis phedima oitenses* MATSUMURA クロコノマチョウ

6.VIII.1993 1♀

4 *Wagimo signata* BUTLER ウラミスジシジミ

28.VIII.1993 1♀

朝、青少年の家の駐車場に死がいとなって落ちていたものを拾う。その時、体はまだ軟らかく、前日夕方以降に死亡したのではないかと考えられる。

文 献

武田亨他 (1982) 岐阜県の昆虫

岐阜県のクワガタムシ科

高井 泰

List of the family Lucanidae (Coleoptera) from Gifu Prefecture, Japan.

Yasushi TAKAI

クワガタムシは一般にもたいへんよく知られた昆虫であるが、どちらかというところ子供のおもちゃになっていて、実際に文献上に記録されることは、あまり多くない。私自身も採集してもほとんど人にあげてしまって、最近の採集品はほとんど標本になっていない。今回記録した中で、「確認」となっているものの大半は、そうしたものである。

そこでこれまでの岐阜県からの記録を調べたところ、気がついた範囲の文献を拾っただけでも、本県に分布すると考えられる種は一通り記録があることがわかった。

これにわずかばかりの筆者の手許の標本を整理して加えてみたが、あまり十分な量にはならなかったため、GKK ニュースにおいてクワガタムシの記録の発表を呼びかけた。また何人かの同好者からは、個人的に記録をご教示いただいた。その結果現在までに判明した本県におけるクワガタムシの分布を、市町村別にまとめてみた。岐阜県の市町村は99あるそうだから、まだまだ記録のない市町村が多いが、今後の調査のたたき台にでもなれば幸いである。徳山村の記録は、すべて藤橋村に含めた。

なお文献の記録はかなり見落としがあるのではないと思われる。お気づきの方は御教示いただきたい。

採集者名のないものは私自身の採集品である。

目録に先立ち、標本・データの提供をいただいた桐山功・青木哲郎・鈴木功・石木崇の各氏、呼びかけに応じて、記録を発表していただいた各氏にお礼申し上げたい。なおデータを提供していただいたものについては、私自身で標本を実検しているわけではない。

また本調査は、一部岐阜県教育委員会の教育研究助成金によっている。同委員会にも謝意を表する。

目 録

1. *Lucanus maculifemoratus* MOTSCHULSKY

ミヤマクワガタ

朝日村：秋神貯水池(死体確認 1988. vii .24),
寺附 (1♀確認. 1988. vii .31)

恵那市：阿木川ダム (1♀確認, 1992. viii .3)

大野町：野 (小倉, 1988)

上宝村：福地 (1♂, 1991. vi .10)

上之保村：鳥屋市 (1♀, 1981. viii .5)

岐阜市：金華山 (1♀, 1979. vi .23. 桐山), 早
田 (1♂, 1971. vii .21. 桐山)

清見村：大原 (1♂確認, 1990. viii .28)

白川村：大白川(青木, 1988; 2♀, 1982. viii .14.
桐山; lex ., 1984. vii .1. 桐山)

白鳥町：石徹白橋峠 (青木, 1988), 桧峠 (1
♀確認, 1988. vii .21), 石徹白 (1♂3♀♀
確認, 1993. ix .1)

関市：鑄師屋・稲口柳洞・長坂(鈴木, 1980),
長坂 (1♂, 1976. vi .2), 鑄師屋 (1♂, 1
♀, 1974. vii .-, 鈴木), 稲口 (1♂, 1979.
vii .19)

高山市：岩井 (青木, 1988)

中津川市：黒井沢高原 (河路, 1983)

南濃町：徳田谷 (野平, 1981)

根尾村：— (1♀, 1980. vii .24), 藤谷 (1♂1
♀. 1975. viii .9/10. 桐山), 高尾(小倉, 1988)

藤橋村：白谷(長谷川ほか, 1989), 冠山峠(長
谷川ほか, 1989)

馬瀬村：中切 (1♂, 1991. vi .11)

美濃市：片知（鈴木，1985）
 本巣町：外山（小倉，1988）
 大和町：内ヶ谷（1♀死体確認，1993. ix .1）
 和良村：数河（1♀死体確認，1991. viii .12.）
 平地から山地まで見られるが，蛭ヶ野高原など，山地では最も個体数の多いクワガタとなる。しかし平地の方が大型になるように思われる。足の力が弱いためか，木を揺すると簡単に落ちてくる。人気があってなかなか標本が手元に残らない。石徹白のものはみ大あごの第一歯が長いものが多いようだ。

2. *Prismognathus angularis angularis*

WATERHOUSE オニクワガタ

小坂町：御嶽山麓（鳥飼，1970）
 上宝村：双六岳（鳥飼，1970）
 河合村：—（鳥飼，1970）
 白鳥町：石徹白橋峠（青木，1988）
 中津川市：黒井沢高原（河路，1983）
 根尾村：大郷谷・馬坂峠・水鳥谷（宮崎・間野，1988）

藤橋村：冠山峠（長谷川ほか，1989）

ブナ帯多く，灯火，朽ち木崩しなどで採集されるという。長谷川ほか（1989）の中で塚から記録したが，冠山峠の間違い。

3. *Platycerus delicatulus delicatulus* LEWIS

ルリクワガタ

上宝村：平湯。安房峠（鳥飼，1970）
 中津川市：黒井沢高原（河路，1983）
 次種と異なり，新芽に来ることは少ないという。

4. *Platycerus acuticollis acuticollis* KURO

SAWA コルリクワガタ

上宝村：ワサビ平（鈴木，1986）
 白川村：大白川（産卵痕・幼虫確認，1991. ix .16）
 中津川市：黒井沢高原（河路，1983）
 県境の夜叉ヶ池，冠山の福井県側から記録（奥田・藤田，1987）がある。春，ブナ帯の広葉樹の新芽に来ることが知られている。

5. *Figulus binodulus* WATERHOUSE チビクワ

ガタ

美濃市：片知溪谷（川原，1986）

桜の朽ち木に見られるというが，本県では少ないようだ，南方系の種と思われる。他県では駅のホームの桜の枯木からも見つかったことがあるらしく，探せば案外いるのではないかと思っている。

6. *Aesalus asiaticus asiaticus* LEWIS マダラクワガタ

河合村：猪臥岳（鳥飼，1970）

白川村：大白川（野平，1990）

古川町：猪臥山（齊藤・高井，1991）

河合村では，朽ち木で採集されたという。夕方飛翔しているものの採集例が多いように思われる。私は北海道の支笏湖の湖畔で，朽ち木に止まっていたものを採集した。河合村の猪臥岳と古川町の猪臥山は同じ山の別斜面と思われるが，どちらの表記が正しいのか判らないので，原典に従う。

7. *Ceruchus lignarius monticola* NAKANE

ツヤハダクワガタ

小坂町：落合（河路，1984）

河合村：猪臥岳（鳥飼，1970）

白川村：大白川（川原，1988），平瀬（1991. vii .27.1♀死体確認）

猪臥岳では朽ち木で採集されたという。平瀬では，路上で轢死体を確認した。大白川から記録されたものは，キャンプ場周辺の朽ち木に止まっていたものである。中部山岳地帯に産する亜種 *monticola* はミヤマツヤハダクワガタと呼ばれることもある。ここでは亜種名の記していないものも含めてこの亜種としておく。

8. *Prosopocoilus inclinatus inclinatus* (MOTSCHULSKY) ノコギリクワガタ

朝日村：秋神貯水池（死体確認 1988. vii .24）

池田町：田畑（青木，1988）

大野町：野（小倉，1988）

川島町：松原（安藤ほか，1979）

岐阜市：金華山（1978. viii .14.1♂.桐山）

白鳥町：六の里(青木, 1988), 那留(1♂, 1992. viii .16)

巢南町：根尾川河川敷(小倉, 1988)

関市：黒屋・鋳師屋(鈴木, 1980), 鋳師屋(1♀, 1974. vii .一, 鈴木; 1♂, 1975. vii .12, 鈴木; 1♂, 1976. vii .12, 鈴木), 黒屋(1♂, 1975. vii .12, 鈴木), 富野(1♂, 1988. vi .16.)

南濃町：川原越(野平, 1981)

根尾村：高尾(小倉, 1988)

八幡町：初納(1♀死体確認, 1993. ix .4), 安久田(1♀死体確認, 1993. ix .4)

藤橋村：塚(青木, 1988; 長谷川ほか, 1989), 白谷(長谷川ほか, 1989)

美濃市：片知(鈴木, 1980)

明宝村：大谷(1♂1♀確認, 1990. viii .28)

武儀町：多々羅(1♂2♀死体確認, 1991. viii .10)

本巣町：外山(小倉, 1988)

大和町：大間見(1♀死体確認, 1993. ix .3), 牧(1♂, 1993. ix .9)

平地では、コクワガタに次いで多いが、白鳥町など、標高が高い地域では、むしろ少ないように思われる。

9. *Nipponodorcus montivagus montivagus* (LEWIS) ヒメオオクワガタ

小坂町：濁河(1991. viii .10, 1♂確認)

各務原市：中屋(1961. vi .21.1♀. 桐山)

上宝村：ワサビ平(1♀確認, 1990. viii .9)

河合村：猪谷(1955. vii .17.1♀. 桐山)

岐阜市：金華山(1978. viii .14.1♀. 桐山)

国府村：猪臥岳(鳥飼, 1974)

坂内村：—(1983. viii .24.2♀. 桐山)

荘川村：アマゴ谷(1954. vii .10.1♂. 桐山)

白川村：大白川(青木, 1988; 1982. viii .14.1♀. 桐山)

白鳥町：為真(1992. ix .29.1♂)

高鷲村：蛭ヶ野(1968. x .10.1♂. 桐山)

高根村：千間樽高原(鳥飼, 1974), 日和田高原(1♀, 1991. vii .16)

中津川市：黒井沢高原(河路, 1983)

藤橋村：冠山峠(長谷川ほか, 1989)

美濃市：須原(1983. v .31.1♀. 桐山)

鳥飼(1970)は、飛騨地方では比較的良好によく発見されるとしている。ヤナギの木に来るが、どういふわけか、山道の上をはっていることも少なくない。オオクワガタやヒラタクワガタなどは、大型になると体の前半部分が特に大きくなるが、本種などでは、体全体が大きくなるので、オオクワガタなどに比べると迫力が無い。

10. *Nipponodorcus rubrofemoratus* (SNELEN van VOLLENHOVEN) アカアシクワガタ

朝日村：秋神貯水池(死体確認1988. vii .24)

池田町：般若畑(青木, 1988)

上宝村：左俣谷(1960. vii .29.1♂. 桐山), 平湯キャンプ場(青木, 1988)

河合村：猪谷(1955. vii .17.1♀. 桐山)

白川村：大白川(青木, 1988; 1986. vii .30.1♀. 桐山)

白鳥町：石徹白(多数確認, 1993. ix .1), 為真(1♂確認, 1993. ix .2), 前谷(1♀確認, 1993. ix .5)

中津川市：黒井沢高原(河路, 1983)

根尾村：藤谷(1975. viii .9/10.3♂. 桐山)

藤橋村：塚(長谷川ほか, 1989), 白谷(長谷川ほか, 1989), 冠山峠(長谷川ほか, 1989)

明宝村：鎌辺(1♂確認, 1990. viii .28)

本巣町：外山(小倉, 1988)

大和町：内ヶ谷(2♀確認, 1993. viii .18)

一般にやや山地に分布するが、近年関市小屋名の百年公園のような平地でも採集されている。山地では、ミヤマクワガタとともに個体数がたいへん多い、灯火にもよく飛来する。

11. *Macrodercas rectus rectus* (MOTSCHULSKY) コクワガタ

朝日村：秋神貯水池(死体確認 1988. vii .24)

大野町：野(小倉, 1988)

岐阜市：茜部(1961. vi .5.1♂. 桐山). 本荘(1♂. 1967. vii .15. 桐山; 1♂. 1969. vi .2. 桐山)

山), 金華山(青木, 1988; 1♂1955. v.14.1♂. 桐山; 1966. vi.12.1♂桐山; 1978. viii.14.1♂.桐山; 1982. vii.22.1♂.桐山), 椿洞畜産センター(青木, 1988), 山県北野ファミリーパーク(青木, 1988)

白川村: 大白川(青木, 1988)

白鳥町: 石徹白樫峠(青木, 1988), 大島(1♀目撃.1991. vi.12), 為真(1♀目撃, 1991. vi.13)

真正町: 根尾川堤防沿い(小倉, 1988)

関市: 本郷町・鑄師屋・黒屋(鈴木, 1980), 黒屋(1♂1♀, 1975. vii.11.; 1♂, 1975. vii.30, 鈴木), 鑄師屋(1♂, 1974. vii.-, 鈴木; 1♀, 1974. vii.12, 鈴木), 本郷町(1♂, 1977. v.19; 1♂, 1988. vi.15.), 富野(1♂, 1988. vi.16)

巢南町: 根尾川河川敷(小倉, 1988)

中津川市: 黒井沢高原(河路, 1983)

南濃町: 徳田谷(野平, 1981)

根尾村: 高尾(小倉, 1988), 根尾川河川敷(小倉, 1988)

八幡町: - (1971. vii.14.1♀.桐山)

藤橋村: 品谷(杉山, 1981); (長谷川ほか, 1989)

馬瀬村: 中切(2♀, 1991. vi.11)

美濃市: 片知(鈴木, 1980; 3♂, 1980. viii.10; 1♀, 1981. vii.31)

武儀町: 富之保(1♀確認, 1990. viii.29)

本巣町: 外山(小倉, 1988)

大和町: 井寺(1♀目撃, 1991. vi.12)

最も普通に見られる種で, 一時期クワガタムシの飼育個体が越冬したという記事が新聞に載ったことがあったが, 多くはこの種であったようだ。ただし標高の高いところではアカアシの方が圧倒的に多く, 白鳥町ではアカアシ, ミヤマ, コの順に個体数が多い。

12. *Macrodorcas striatipennis* MOTSCHULSKY
スジクワガタ
池田町: 般若畑(青木, 1988)

大野町: 野(小倉, 1988)

春日村: - (青木, 1988)

上宝村: 新穂高(1957. viii.3.1♀.桐山), 右俣谷(1957. vii.29.1♂.桐山), 平湯キャンプ場(青木, 1988)

白川村: 大白川(青木, 1988)

高鷲村: 蛭ヶ野(2♂♂, 1991. vii.10)

高根村: 日和田高原(1♂, 1991. vii.16)

美並村: 根村谷(1♂, 1981. viii.19.)

美濃市: 片知(鈴木, 1980; 1♀, 1979. ix.16; 1♀, 1981. vii.31)

中津川市: 黒井沢高原(河路, 1983)

根尾村: 藤谷(1975. viii.9.1♂1♀.桐山), 高尾(小倉, 1988)

藤橋村: 品谷(杉山, 1981), 冠山峠(長谷川ほか, 1989)

本巣町: 外山(小倉, 1988)

手許に故飯田逸博氏からいただいた滋賀県伊吹町産の1♂(東出山, 1974. vi.16)がある。大型の個体は少ない。

13. *Serrognathus platymelus pilifer* (SNELLEN van Vollenhoven) ヒラタクワガタ
池田町: 般若畑(青木, 1988)

白鳥町: 桧峠(1♀確認, 1988. vii.21)

真正町: 根尾川堤防沿い(小倉, 1988)

巢南町: 根尾川河川敷(小倉, 1988)

関市: 黒屋・鑄師屋(鈴木, 1980), 鑄師屋(1♂, 1976. vii.12, 鈴木), 黒屋(1♂, 1975. viii.-), 本郷町(1♂, 1988. vi.15, 目撃)

美濃市: 片知(鈴木, 1980)

本巣町: 外山(小倉, 1988)

最近是非常に個体数が減った気がする。しかし灯火へ飛来することが少ないためかも知れない。

14. *Dorcus hopei* (SAUNDERS) オオクワガタ
池田町: 般若畑(青木, 1988)

岐阜市: 茜郡(1♂1♀.1958. viii.15.桐山; 1♂1961. viii.3.桐山)

河合村: - (鳥飼, 1970), 角川(鳥飼, 1974)

小倉 (1988) によると本巢町外山地区でも採集されているらしいという。関市内でも採集されているという話は聞いているが、標本は見えない。南方系の種であるので、県南部の温暖な地域ではもっと発見されているようだが、公表されることは少ない。

15. *Aegus laevicollis laevicollis* SAUNDERS

ネプトクワガタ

池田町：般若畑 (青木, 1988)

各務原市：鷓沼 (青木, 1988)

美濃加茂市：上蜂屋 (浅野, 1986)

美濃市：片知 (鈴木, 1980)

関市：塔の洞 (鈴木, 1980 ; 1♂, 1976. vii .1, 石木崇採集)

それほど珍しいとも思えないが、意外に採集しにくい種である。樹液に来ているものを採集できるが、来る木に限られる。

クワガタムシ類の同定は簡単に思えるが、大型のオスはともかく、メスや時には小型のオスでも迷うことがある。図入り検索表の付けられた図鑑風物が出版されているが、図にとらわれすぎると、思いがけないところに行き着くこともある。ていねいに解説を読んで確認した方が良さそうだ。

文 献

安藤 尚・岡田正哉・横地鋭典. 1979. 東海の昆虫. 223 pp.

青木哲郎. 1988. 私の標本箱のクワガタムシから. GKK 通信, (25) : 4.

浅野 隆. 1986. 美濃加茂市にて, ネプトクワガタを採集. だんだらちょう, 4 (11) : 28.

長谷川道明・野平照雄・金森伸一・青木哲郎・高井 泰. 1989. 旧徳山村地域の甲虫類. 旧徳山村地域動物植物調査報告書 : 55-107.

川原 誠. 1986. 美濃市でチビクワガタを採集. 啓蟄, 4 (11) : 20.

———. 1988. ツヤハダクワガタの岐阜県における採集例. 啓蟄, 5 (15) : 30.

河路掛吾. 1983. 岐阜県黒井沢高原で採集したクワガタムシ. 佳香蝶, 35 (133) : 19.

———. 1984. ツヤハダクワガタ中部亜種の採集報告. 月刊むし, (166) : 8.

宮崎弘規・間野隆裕. 1988. オニクワガタの根尾村における採集例. 啓蟄, 6 (17) : 15.

野平照雄. 1981. 南濃町の昆虫目録 COLEOPTERA 鞘翅目. 南濃町史 : 30-37.

野平照雄. 1990. 白川村大白川でマダラクワガタを採集. 啓蟄, 8 (22) : 5.

小倉正治. 1988. 本巢郡本巢町外山地区の蝶とクワガタ (1987年度分). GKK 通信, (25) : 1-2.

奥田則雄・藤田 宏. 1987. 西南日本におけるルリクワガタ属の1新種. 月刊むし, (192) : 3-13.

大川親雄. 1961. ヒメオオクワガタの2記録. 佳香蝶, 13 (46) : 114-115.

斉藤昌弘・高井 泰. 1991. 岐阜県で採集した甲虫. 啓蟄, 9 (24) : 1-10.

鈴木 功. 1980. クワガタムシ科. 関高生物, 1 : 24-25. 同訂正および追補. 関高校生物部.

———. 1986. 笠ヶ岳連峰の昆虫相 (鞘翅目). 岐阜県博物館調査研究報告, (7) : 33-55.

高井 泰. 1988. 岐阜県のクワガタムシを記録しましょう. GKK 通信, (23) : 2.

鳥飼兵治. 1970. 飛騨地方の鞘翅目の分布について. 生物教育, : 137-154.

———. 1974. 飛騨高地の鞘翅目について. 岐阜県の動物 (岐阜県高等学校生物教育研究会編) : 190-206. 大衆書房.

杉山 勉. 1981. 揖斐川上流域の鞘翅 (甲虫) 目. 揖斐川上流域生物調査報告書 : 189-198.

お知らせ

本誌バックナンバーは下記のとおりです。入手希望者は、下記連絡先へ問い合わせ下さい。

連絡先：岐阜県昆虫分布研究会

〒501-11 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学教育学部内

TEL 0582 (30) 1111 内線3162

岐阜県で採集したハチとアリ (1)

高井 泰

Records on himenopteran insects in Gifu Pref. (1) some bees and ants collected from Shijyu - hachi Taki District in Kokufu - cho, Gifu Pref.

Yasushi TAKAI

1. 国府町四十八滝で採集した有剣膜翅類

国府町四十八滝は観光地としても知られたところで、鳥飼氏の甲虫の報文もあって、以前より採集に訪れたいと思っていた場所であったが、幸い、川崎立夫氏、船越進太郎氏のお誘いを受け、1991年8月より翌年6月までの間、数度この地の甲虫の調査をすることができた。

その折、甲虫を採集する片手間にハチ・アリ類の採集も試みてみた。ベイトトラップを中心とした調査であったため、十分に調査できたわけではないが、県内のこの類の調査が余りされていないこともあるので、ここに記録しておく。

同定は、ハチ類については、福井昆虫研究会の羽田義任先生、アリ類については、本会の山内克典先生にお願いした。両先生にお礼申し上げたい。また機会を与えていただいた川崎・船越両氏に謝意を表す。

なおハバチ類やヒメバチ等については、未同定であるので、いつか報告したいと思っている。

リスト中8月、11月の記録は1990年のもので、6月は1991年の記録である。採集者はすべて私であるので、省略する。

Trigonalidae カギバラバチ科

Poecilogonalos maga TERANISHI タマカギバラバチ 1♂, vi .30

Mutillidae アリバチ科

Mutilla europaea mikado CAMERON ミカドアリバチ 1 ex., viii .28/30

Smicromyrme rufipes lewisi MICKELI ヒトホシアリバチ 1♂, vi .30

Formicidae アリ科

Aphaenogaster famelica (F. SMITH) アシナガアリ 4 exs., viii .28/30

Pheidole fervida F. SMITH アズマオオズアリ 8 exs., viii .28/30

Camponotus (*Camponotus*) *japonicus* MAYR クロオオアリ 1 ex., viii .28/30

Camponotus (*Camponotus*) *opscuripes* MAYR ムネアカオオアリ 4 exs., viii .28/30
3 exs., xi .25

11月下旬には、腐朽木の中で越冬していた。
Camponotus (*Camponotus*) sp. キュウシウウオオアリ 1 ex., viii .28/30

Formica sp. ハヤシクロアリ 1 ex., viii .28/30

Lasius (*Lasius*) *hayashi* YAMAUCHI et HATASHIDA ハヤシケアリ 8 exs., viii .28/30

Pompilidae ベッコウバチ科

Xanthampulex pernix (BINGHAM) ヤドリベッコウ 1 ex., viii .28/30

Eumenidae ドロバチ科

Symmorphus cliens Giordani SOIKA カタトゲハムシドロバチ 2♂7♀, vi .30

滝を巡る遊歩道の入口にはほらがあり、その外壁に多数の小孔が見られた。この孔には、本種やアナバチ科の小型種が多数出入りしていた。

Vespidae スズメバチ科

Vespa dybowskii ANDRE チャイロスズメバチ 2 exs., viii .28/30

1991年には、遊歩道脇の樹洞に営巣していた。翌年はここでは見られなかった。

Vespa simillima xanthoptera CAMERON キイロスズメバチ 2 exs., viii .28/30

Vespa tropica pulchra BUYSSON ヒメスズメバチ 1 exs., viii .28/30

Vespula schrenckii (RADOSZKOWSKI) ツヤクロスズメバチ 1 ex., viii .28/30

Sphecedae アナバチ科

Psenulus nikkoensis TSUNEKI ニッコウマエダ

- テバチ 1♀, vi.30
Pemphredons udai TSUNEKI スダアリマキバチ 3♀, vi.30
Stigmus convergenus TSUNEKI ヒメエンモンバチ 1♀, vi.30
Stigmus quadriceps TSUNEKI シカクエンモンバチ 1♀, vi.30
Crossocerus shubuyai (IWATA) シブヤギングチ 3♀, vi.30
Halictidae コハナバチ科
Lasioglossum (*Lasioglossum*) sp.3 カタコハナバチの1種 1♀, vi.30
番号は坂上昭一博士の整理番号のようで、種名は未確定。福井県では中・高山帯に産し、個体数は少なくないらしい。(羽田, 1991).
Lasioglossum hirashimae EBMER et SAKAGAMI ウマヅラチビコハナバチ 1♀, vi.30
Lasioglossum transpositum (COCKERELL) ツチヤビコハナバチ 2♀, vi.30
Anthophoridae コシブトハナバチ科
Nomada sheppardana okubira TSUNEKI コキマダラハナバチ 1♀, vi.30
Ceratina japonica COCKERELL ヤマトツヤハナバチ 1♀, vi.11
Apidae ミツバチ科
Bombus diversus SMITH トラマルハナバチ 1♀, viii.28/30 1♀, vi.30
Apis cerana FABRICIUS ニホンミツバチ 1 ex., vi.30

今回調査したのは、標高800mの遊歩道入口から、滝に沿って登った鞍部までが中心である。

この地域の甲虫相をまとめた鳥飼氏の報文によれば、かつてはこの地域はたいへんな原生林に囲まれた地域であったようである。しかし現在では、滝を登り詰めたところからは植林が広がり、昔日の面影はない。原生林は滝沿いのわずかな面積が残されているだけのようである。

甲虫の調査でもナガクチキムシなどが採集されなかったのは、単なる調査不足のためであろうか。生木を食餌とする昆虫は、その植

物が生じていれば、細々とでも生活していける可能性はあるが、立ち刈れや朽ち木等を食する昆虫は、それらの食餌が不断に供給される規模の森林がなければ、生活していくことはできない。

今回記録したハチ類が、この地域の環境をどの程度反映しているか、比較すべきデータを知らないで、ここでは述べられないが、「むら起こし」と称する環境破壊（本当に必要なものも少しはあるかも知れないが）が各地で行われようとしている現在、少しでも多くの比較に耐え得るデータを残していくことが急務になっている。

文 献

- 羽田義任. 1991. 福井県のハナバチ上科について (5). 福井虫報, 15: 33-38.

岐阜県のチョウ類雑記 (Ⅲ)

清見村のチャマダラセセリ

金 森 伸 一

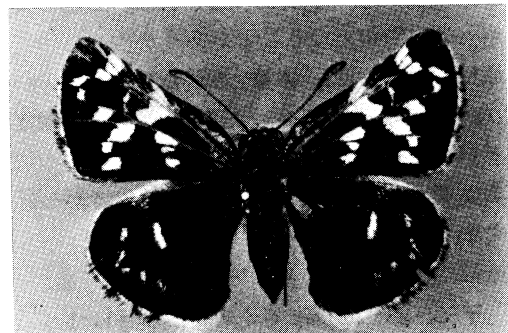
A record of *Pyrgus maculatus* from Kiyomi-mura. Gifu-Pref.

Shin-ichi KANAMORI

筆者はこの地域からの記録が少ないと思われるチャマダラセセリの標本を保管しているので報告する。

岐阜県清見村夏厩 v.4.1989, 1♀
金森美和子採集, 金森伸一保管

目撃した2頭のうちの1頭を素手で採集したとの由。なお、筆者は同日、同場所にてギフチョウ1♀を採集している。



清見村夏厩産チャマダラセセリ

「啓蟄」 投 稿 規 定

1. 啓蟄への投稿は、依頼原稿や特に編集委員会で認めたものを除き、少なくとも執筆者のうち一人が岐阜県昆虫分布研究会の会員でなければならない。
2. 内容は岐阜県の昆虫に関する論説、調査記録、短報などとする。採集記、随想などは当分の間GKK通信へ投稿されたい。また外国語のもの（摘要等は除く）や重要な分類上の取扱いを含むものは原則として受け付けない。
3. 原稿には原則として横書の原稿用紙を用いるが、短報は葉書でもよい。またワープロによるものも受け付ける。なおワープロ使用の場合は1行21文字で作成すること。啓蟄専用の原稿用紙（横21文字）が必要な場合は編集委員まで申し出ただけで郵送する。
4. 原稿は当分の間400字詰原稿用紙40枚までを限度とするが、超過分著者負担のもの、または編集委員会により特に認められたものについてはこの限りでない。
5. ワープロまたは専用の原稿用紙を使用する場合は、次のことに注意をされたい。
 - (1) 英字の大文字は1マスに1文字、小文字は2マスに3文字書く。
 - (2) 数字は原則として1マスに2文字書く。
 - (3) 短報以外のものには英文表題をつけることができる。
 - (4) 氏名は行を改めて書き、続けて（ ）内にローマ字名を書く。
6. 注や文献を記す場合、本分の右肩に小さな文字で1) などと記す表記は使用しない。
7. 昆虫や植物の種名は少なくとも文章の中で最初の1回は省略せずに書き、2回目以降は混乱のない範囲で省略してもよい。また採集年月日、採集地、個体数、採集観察者名、標本所有者などのデータは必ず明記する。なお採集年月日の表記はなるべく23. VI. 1988または1988. VI. 23.のように略記されたい。
8. 図は明瞭に書かれたものであること。カラー印刷は原則として受け付けない。
9. 別刷（表紙なし）は実費で作成する。希望者は原稿の1枚目に分かりやすいように必要部数を朱記すること。（現在別刷の作製費用は、1ページあたり1,500円程度）
10. 原稿は原則として返却しないが、付図は申し出があれば返却する。
11. 原稿に不備がある場合は書き直しを求める場合がある。また編集の都合上、編集者が原稿の主旨を変えない範囲で手を入れることがある。

啓蟄の原稿を募集します

- ◆原稿は原稿用紙に書いて下さい。
- ◆出来上がり11ページ(400字詰原稿用紙約40枚)以上の報文を一挙掲載するときは、超過分費用が著者負担となることがあります。
- ◆原稿の書き方は、「啓蟄」投稿規定(本誌24ページ)を参考にして下さい。不備な原稿は、編集者が訂正を求めることがあります。
- ◆英文タイトルは、要望があれば編集者がつけます。
- ◆原稿の送り先、照会先は下記のとおりです。
〒501-25 岐阜市芥見南山三丁目11-1
岐阜県立岐阜藍川高等学校内 田中正弘宛

| | |
|--|-------------------|
| 啓 けいちつ 蟄 | Vol. 11 No. 31/32 |
| 発行日/平成6年(1994年)7月5日 | |
| 編集者/田中正弘 野平照雄 尾藤成人 高井泰 高田清 | |
| 発行者/岐阜県昆虫分布研究会 (GKK) | |
| 〒501-11 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学教育学部内 TEL 0582(30)1111 内線3162 郵便振替 00850-6-8149 年額会費 3,000円 | |
| 印刷所/名港印刷株式会社 | |
| 〒455 名古屋市港区築三町3-6 TEL (052) 652-3311 | |